

東大和レポート

改革・変革

2002年11月6日発行

NO、8

ルネッサンス

〒207-0033

東大和市茅窪5-1106-5

TEL 042-567-4332

FAX 042-566-3488

発行者 関野 たかなり

ごうがい！
原発



原子力発電所の中ってどうなっているの？

世界最新鋭の！ 柏崎原子力発電所

見学会 参加者募集！

今、皆さんが使っている電力の3割以上は原子力発電所で作られた電気です。
原発は、「危険だ！」「安全だ！」と決めつけずに、どうやって作られているのか、
そして管理されているのか。いっしょに勉強しませんか。世界最新の技術を集めた新潟
県の柏崎原子力発電所を見学しましょう。原子炉の炉心の上にもものぼれます。

日時 2002年12月1日(日)

集合時間 朝7時(帰着は午後8時を予定しています。)

集合場所 西武拝島線 玉川上水駅 北口ロータリー

参加費 一人 2000円 交通費・昼食費込み

参加希望の方は住所・氏名・年齢・職業をEメール、または、FAXにて下記までご連絡ください。
お気軽にご参加ください。お待ちしております。(先着順 70名)

Eメールアドレス sekino_takanari@hotmail.com TEL 042-567-4332

締め切り 11月20日(水) 裏面にFAX用紙があります。

ちょっと原子力発電・原子炉の勉強！

* 原子力発電を考える *

冬に向かって熱エネルギーの消費量が増えてきます。そこで、皆さんがいつも使っている電力の30%以上は原子力発電所で作られています。

* 原子燃料リサイクル *

山で採取される天然の「ウラン」には核分裂する「ウラン 235」が0.7%しか含まれていない為、日本に一般的にある原子炉である「軽水炉」では、燃料として利用できない。そこで、割合を高め（濃縮）成形、加工した後、原子炉で燃料として使用する。原子炉で使用した後の燃料（使用済み燃料）には燃え残りの「ウラン 235」や核分裂をしない「ウラン 238」から生成された「プルトニウム」といった核分裂をする物質も含まれている為、使用済み燃料を再処理しこれらを抽出する事で再度、燃料として使用する事が出来るようになる。こうした一連の「ウラン」や「プルトニウム」の流れを「原子燃料リサイクル」と呼ぶ。

* プルサーマル計画 *

原子力発電所で使用された後の燃料を再処理し取り出した「プルトニウム」を「ウラン」と混ぜ「MOX燃料（混合酸化物）」に加工し、再び燃料として原子力発電所で利用する計画。

* 軽水炉 *

原子炉の冷却と「ウラン 235」の核分裂をしやすくする為に、中性子を減速する役割として「軽水（普通の水）」を使用する原子炉。

* 高速増殖炉 *

燃えない「ウラン 238」が中性子を吸収して出来る「プルトニウム」を燃料とし、原子炉の冷却を「ナトリウム」で行う。発電の為に消費する以上の「プルトニウム」を同時に生成でき、「ウラン」の利用効率を飛躍的に高める事が出来る「炉」の事。

キ リ ト リ 線

住所 _____

電話 _____

氏名 _____

年齢・職業 _____ 才 _____

FAX 送付先 042-566-3488 関野まで